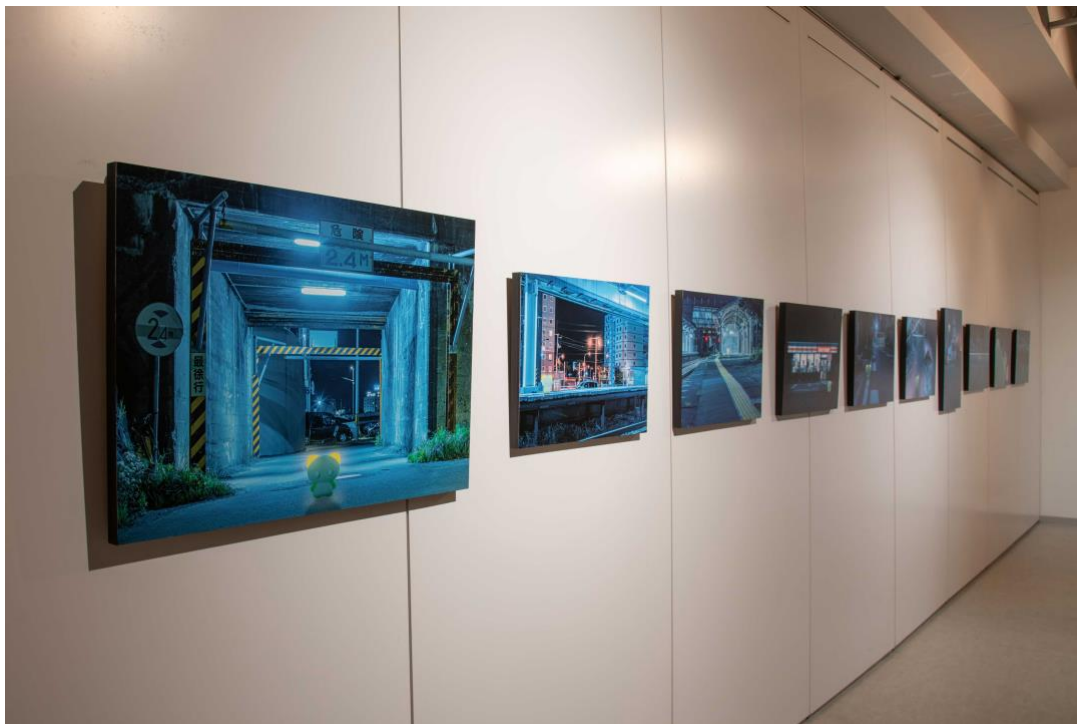


荒井 怜那  
ARAI Reina



にゃぴあ～

Blender、Photoshop、Bridge、半光沢紙

## にゃぴあ～

孤独やストレスといった悩みを抱えやすい現代でキャラクターは人に安らぎを与えてくれる身近な存在である。そこで人はどのようなキャラクターに癒しを感じるのかを調査した結果、特に丸みのある形や動物系のデザインを可愛いと感じ、癒されることが分かった。また、一日の疲れが出るのは夜であるため、暗い中でどのような照明の色光に癒しを感じるのかも調べた。結果、寒色系が特に癒し効果の高い色光であった。以上のことを踏まえて、より身近に感じることができる、人に癒しと安らぎをもたらすキャラクターの世界を創作し、撮影した夜景写真の中へキャラクターが自然に溶け込む現実と非現実のはざまのような景色の研究、制作を行なった。

本作は役目を終え、持ち主に置き去りにされたねこのぬいぐるみが一人旅を始めた光景を表現している。タイトルの「にゃぴあ～」には、ねこのぬいぐるみが現れる(appear)世界という意味を込めた。ぬいぐるみは暗い夜道を光る耳で照らしながらひっそりと巡る。時には不思議な巾着で空を飛び、時には出会った人に対して安心感を得て欲しい気持ちを伝えるために耳を青く光らせたりしながら一人旅を続ける。静寂な印象がありつつも優しく、少しユニークな光景を目指した。展示作品は主に 3DCG のねこのぬいぐるみと各地で撮影した夜景写真を合成した画像、人の動作に反応するぬいぐるみの二種類である。夜景写真は癒し効果の高い青色を基本とし色調補正を行う。ぬいぐるみは人に反応して耳が黄色から青色に変化する。どちらもねこのぬいぐるみというキャラクターをより身近な癒しをもたらす存在として感じることができるものとして制作した。

夜道を旅するねこのぬいぐるみは寂しい気持ちや悩みを抱えながら夜を過ごす人のいるところへ優しい光を灯しながら訪れることもあるだろう。この子が現れる景色を通して心に少しでも安らぎが灯ることを願う。